

地 域	丹波	日 付	11/2 (月)	人 数	17 人
参加者	農業経営士・女性農業士・青年農業士				
主な意見					
<p>(農業を次世代へ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーズづくりやチラシづくりなど、農家の中でも好きなことをしたり、いろんな能力を生かすことで、やりがいを見つけてやっていくことができる。 <p>(会いに行ける農家)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波はお洒落な田舎と言われる。京阪神の人が来て農家の人と触れ合える。 ・都会から近い田舎であり、農家と触れ合える場として売り込める。 <p>(兵庫は兼業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兼業をどう保ち続けるか。丹波は兼業のほうが多い。そっちに光を当てるべき。 ・二種兼業が多いのはダメと言われるが、それが兵庫の特徴であり、県土を守れる。 <p>(分散ホテルの可能性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊まる場所が少ないから、宿、レストラン、温泉をそれぞれ分散させて、それぞれをタクシーでつなぐようなことをしてはどうか。 <p>(負担をおしつけない地域づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の溝掃除に出ていくと、平均年齢は75歳で、最高93才。話題は「田んぼを1円で売るから買ってくれ」。なすりつけられている気がする。 <p>(農業の収入の見える化がハードルを下げる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入の不透明さが課題。資料、データによる見える化が新規就農者の不安を解消。 <p>(耕作権を重視すべき)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地権者が強すぎるので、耕作者の意思を尊重できるよう、耕作権を重視すべき。 					